

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和4年度取組結果】

団体名	株式会社 北九州輸入促進センター
-----	------------------

所管課	産業経済局 スタートアップ推進課
-----	------------------

団体に対するミッション
<p>小倉駅新幹線口エリアにおけるまちづくりの中核施設として、新たな「ビジネス」「交流」「人材」「モノ」を創出・育成する「はぐくみの拠点AIM」という、市が定めたビルコンセプトに基づいたテナント誘致を行い、健全な経営のもと、AIMビルの管理・運営を行う。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>現在、AIMビルへの積極的なテナント誘致活動により、経営状況が安定化してきており、施設設備の老朽化に伴う大規模修繕費用の負担も踏まえつつ、今後とも健全経営の維持に努める。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	継続して積極的なテナント誘致活動を行い、ビル入居率の維持、向上に努めると同時に、単年度決算での黒字を今後も確保し続けることを目指す。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H30	R1	R2	R3	R4		R5	R6
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
ビル全体の入居率	91%	94%	95%	92%	89%	94%	89%	89%
当期純利益	136,782 千円	138,943 千円	151,674 千円	169,735 千円	130,000 千円	102,550 千円	130,000 千円	130,000 千円

ミッションの遂行状況の評価（令和4年度）

団体における評価	積極的なテナント誘致活動に取組んだ結果、(株)YE DIGITAL Kyushuの新規入居や既存テナントが増床するなどの成果を上げることができた。その結果、12期連続の黒字を達成し、安定した経営を継続できた。	市の評価	積極的なテナント誘致の結果、大型テナントの新規入居や既存テナントの増床を実現し、目標以上の入居率と12期連続の黒字化を達成したことは高く評価できる。
今後の課題及び見直し内容（案）	新規テナント入居のための区画整備工事等を行うと共に、経営状況を勘案しながら、必要な修繕、設備投資を実施し、AIMビルの高い優位性や機能を維持する。令和4年度は、エスカレーター更新工事や4階及び8階の区画整備工事などを行った。	団体への改善指導内容（案）	今後も引き続き、積極的なテナント誘致活動及び必要な改修やテナントサービスの強化に取組むことにより、新規入居・増床を図り、単年度黒字を継続することを求める。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に経営状況を注視する団体
不動産仲介業者等との情報交換を密にするなど、積極的なテナント誘致活動と既存テナントの増床を進めた結果、予定どおりの高い入居率と、黒字を確保することができた。	

ミッションに基づく具体的取組み（令和4年度）

目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）						
<p>健全な経営のもと、AIMビルが小倉駅新幹線口エリアにおけるまちづくりの中核施設として認知されることを目指す。 そのために、ビル全体の入居率80%以上を維持しながら効率的なビルの運営を行い、単年度損益で黒字を確保する。</p>					<p>①積極的なテナント誘致及びテナントサービスの強化を図る。 不動産仲介会社等との情報交換を密に行い、新規テナント誘致を進める。既入居テナントには、快適なオフィス環境を提供する等のサービスの向上を図り継続入居を維持する。 ②長期修繕計画に基づく大規模修繕を実施する。 「AIMビル長期修繕計画」に沿って必要な修繕、設備投資を確実に実施し、AIMビルの高い優位性や機能を維持する。今後は、緊急性等も勘案しながら、柔軟に対応して行く。</p>						
										成果指標	R2年度実績
①	ビル全体の入居率	95%	92%	89%	94%	①	・ 交渉案件数 ・ 新規契約件数	・ 50件 ・ 3件	・ 20件 ・ 7件	・ 50件 ・ 5件	・ 50件 ・ 3件
②	当期純利益	151,674 千円	169,735 千円	130,000 千円	102,550 千円	②	大規模修繕工事の実施 (予定分)	100%	100%	100%	100%